

実務経験のある教員による授業科目一覧表

国際ティビィシィ小山看護専門学校 看護学科

(省令で定める授業時間数)

科目名	単位数	年次	担当者	実務経験を活かした授業内容
地域・在宅看護論方法論Ⅱ	1	2	前原 史枝	看護師として病院、診療所にて13年間の実務経験を活かした授業で、暮らしにおける災害対策において、看護師としてどのような役割を果たすことができるのか考える。また避難力（イメージ力、危険予測力、状況判断力など）を身につける。
精神看護学方法論Ⅲ	1	2	加藤 美名子	看護師として病院、診療所にて5年間の実務経験を活かした授業で、精神疾患・障害のある人の諸問題を看護の視点からアプローチし、回復・自立に向けての看護の多職種との連携を理解する。また精神の疾患・障害がある人の事例の看護過程の展開を理解する。
老年看護学方法論Ⅰ	1	2	大久保 礼子	看護師として病院、診療所にて16年間の実務経験を活かした授業で、加齢に伴う機能低下や日常生活に及ぼす影響を知り、安全・安楽に向けた日常生活について学ぶ。
基礎看護技術Ⅳ	1	1	中島 一美	看護師として病院、診療所にて13年間の実務経験を活かした授業で、看護過程を構成する要素とそのプロセスと看護過程を用いることの意義を理解し、看護過程の各段階について基本的な考えを学び、V.ヘンダーソンの看護理論に基づく看護過程の展開ができる。
基礎看護学概論Ⅱ	1	1	高岩 順子	看護師として病院、診療所にて20年間の実務経験を活かした授業で、次の6点を学ぶ。1.看護におけるコミュニケーション。2.姿勢の基本知識、体位保持、ボディメカニクスの原理や体位と体位交換に必要な基本的援助技術。3.車椅子とストレッチャーについてや、移乗移送に必要な基本的援助技術。4.睡眠と睡眠障害について。5.電法の種類と電法が身体に及ぼす影響を理解し、電法の実際。6.苦痛の緩和や精神的安寧を目的とする看護行為について考えることができる。
基礎看護技術Ⅰ	1	1	加藤 美名子	看護師として病院、診療所にて17年間の実務経験を活かした授業で、【環境】については、療養生活の環境の意義を理解し、環境調整ができるように学び、【感染防止】については感染予防の意義と原則を理解し、行動できるように学ぶ。
臨床看護技術Ⅲ	1	2	勅使川原 真弓	看護師として病院、診療所にて7年間の実務経験を活かした授業で、薬物の剤形と特徴を理解し、正しい与薬、薬剤の管理法を学び、与薬における看護師の役割を理解する。また各投与の特徴を理解し、援助の実際を学ぶ。
基礎看護技術Ⅲ	2	1	山本 佳代	看護師として病院、診療所にて14年間の実務経験を活かした授業で、対象の栄養状態及び食欲・摂取能力について理解し、食事介助に必要な基本的援助技術を身につける。また、排泄の意義・メカニズム・アセスメントの方法を理解し、排泄援助に必要な基本的援助技術を身につける。また、清潔援助の効果と全身への影響を理解し、清潔に必要な基本的援助技術を身につける。
看護師が視るからだと病気	1	3	中島 一美	看護師として病院、診療所にて13年間の実務経験を活かした授業で、看護師の観点から人体を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力・判断力を養い、看護のための形態機能学・疾病論を生活行動につなげて考える。
合計	10			